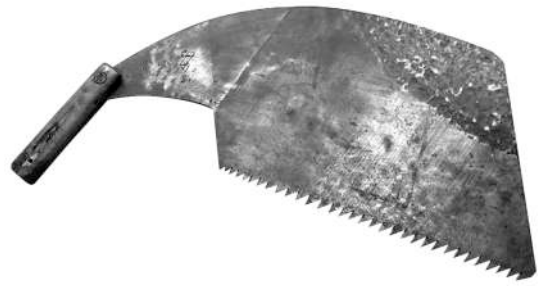


●十日町・集落の記憶...

# 木挽きの技

## 体験ワークショップ



大鋸（明治・大正・昭和の館蔵）



マド鋸（明治・大正・昭和の館蔵）

十日町市の山間集落に今も残る伝統的な家屋。そのほとんどが木挽き職人が山から伐りだし、大鋸で丁寧に挽いた板や柱によって作られています。消え行く日本の伝統技術である「木挽き」を体験し、世界に誇る日本の木の文化を支えた「木挽き」の技と知恵を見直してみませんか？

### 日程（雨天実施・荒天中止）

2009年8月22日（土曜日）

10:00~12:00 準備作業  
13:00~14:00 体験会  
14:00~15:00 木挽き解説  
15:00~16:00 体験会

8月23日（日曜日）

10:00~11:00 体験会  
11:00~12:00 木挽き解説  
13:00~16:00 体験会

\*申し込み不要 ご自由にご参加ください。（無料）

### 会場

十日町市鉢 石仏駐車場付近

十日町駅より越後交通バスで鉢終点下車5分  
（十日町=高島=鉢線 片道380円1日6便）

### 主催「石仏・語らいの家」

連絡先 025-757-0713（8月1日から）  
090-2644-1996（川上）

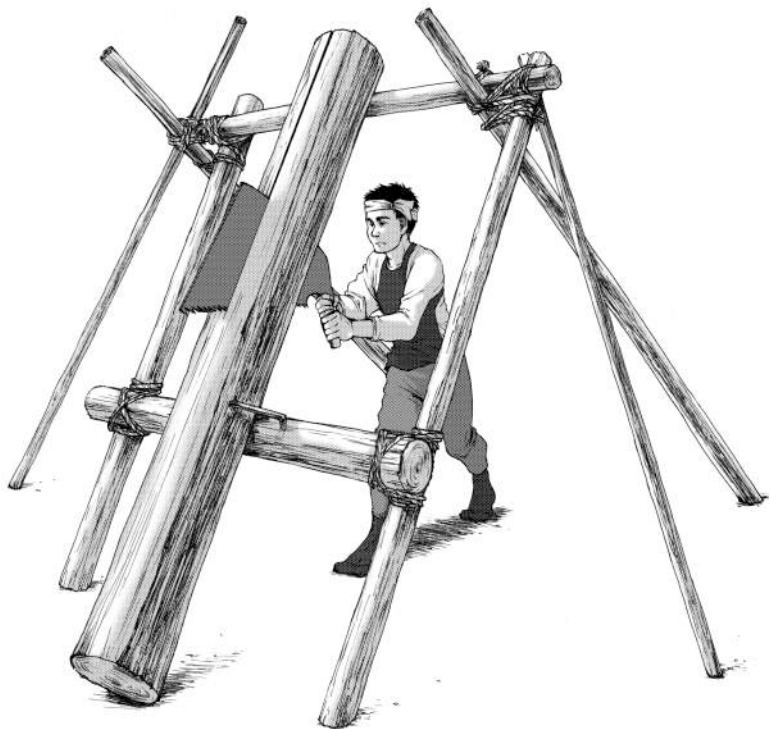
### 講師

世田谷区立次大夫堀公園民家園  
文化財資料調査員

芝崎浩平

世田谷区立次大夫堀公園民家園  
「木挽きの会」

上林歳明



# 「石仏・語らいの家—明治・大正・昭和の館」について

◇8月1日-31日開館・入場無料 ◇見学時間 10:00~17:00 ◇URL <http://www.geocities.jp/minosandougu/>

木挽きの技・体験ワークショップを企画したのは、今年の夏（8月1日～31日）に限定オープンする「石仏・語らいの家」です。十日町市「鉢の石仏」近くの民家で、2階の民俗資料室「明治・大正・昭和の館」の公開と共に、ワークショップやコンサート等を開催します。

この民家の主である尾身ミノさんは、十日町市博物館友の会の活動等を通して、地元の民俗研究調査に熱心に取り組まれてきた方です。また自宅にあった道具を整理し、自宅の一角を民俗資料室として開館すべく準備もされていました。しかし、ミノさんは中越大地震の傷跡も癒えない平成18年に脳溢血で倒れ、今は新潟でリハビリに励んでいます。

貴重な資料が眠るこの資料室をぜひ多くの人々に見ていただき、ちょっと昔の日本の暮らしに思いを馳せよう…とかつて大学の博物館学実習で鉢集落を訪れた元学生たちやミノさんにご縁のある方が集まって企画したのが「石仏・語らいの家」です。そして民俗資料室「明治・大正・昭和の館」も公開する運びとなりました。

「明治・大正・昭和の館」の展示品は、ミノさんの義父や夫（いずれも故人）の生業であった木挽き職人の道具をはじめ、雪国の暮らしの中で、かつてあたりまえに使われてきた物ばかりです。豪雪の中でも様々に工夫して暮らしてきた村の人たちの生活がイキイキと伝わってきます。

又、尾身ミノさんがこれまで執筆された数々の著作の中から「木挽き職人のこと」(十日町市博物館友の会発行 妻有地方の暮らしと歩みⅡ 郷土記録賞入賞作品集/1990~1995年)の抜刷を作成し、配布することにいたしました。

「石仏・語らいの家—明治・大正・昭和の館」は、木挽きワークショップの会場から徒歩2分。ぜひお立ち寄り下さい。



会場は十日町駅より越後交通バスで40分

## 世田谷区立 次大夫堀公園民家園 「木挽きの会」

木挽きの指導は、東京世田谷区の次大夫堀民家園で活動する「木挽きの会」にお願いしました。

木挽きの技術習得を通して木を見る目、木を使う手技や心をまで学んでいるという「木挽きの会」のメンバーは、江戸最後の木挽き職人と呼ばれる林以一さんより、直接指導を受けています。

又、ボランティアとしてその普及活動も積極的に行なっています。



木挽き教室の様子